

# 図書館だより

平成29年4月24日 蒲生高校図書館

1年生のみなさん、ようこそ蒲生高校へ！新しい環境にもだいぶ慣れてきた頃でしょうか？  
新年度が始まり、新たな出会いがいっぱいの毎日。図書館でもたくさんの本がみなさんとの出会いを待っています。  
自分を高める知識や教養を深めたい、静かな時間を過ごしたい、なんとなく癒されたい……。  
そんな時は、気軽に図書館を利用してください。図書館を存分に活用して、充実した高校生活を楽しみましょう！

こどもの読書週間 4/23（日）～5/12（金）



連休は読書を楽しんで  
みてはいかがでしょう。



## 小さな本の大きなせかい

2017・第59回 こどもの読書週間  
4/23～5/12

2017年 こども読書週間の標語は「小さな本の大きなせかい」です。

（標語の作者のことは）

子どもが持てる小さな本に広がる、大きな世界を感じていろいろな世界を体験し、心が大きな人間になるようにと思い、そんな気持ちで考えました。

こころを豊かにする一冊に出会えるように祈っています

（公益社団法人 読書推進運動協議会 HP より）

## 図書館利用について

生徒、職員の貸し出しが始まっています。  
図書館は特別教室棟4階にあり、教室棟からは少し離れていますが、運動ついでにお越しください。  
せっかくですから高校3年間、図書館をフル活用してくださいね。

1年生は図書館オリエンテーションで、図書館利用の説明を行います。新学期ですので、あらためて、図書館利用について案内します。

- ・利用時間 月曜日～金曜日  
9:15～16:45
- ・貸出冊数 ひとり5冊まで
- ・貸出期間 2週間
- ・貸出方法 借りる本を持って「〇年〇組〇番〇〇です。」とクラス・番号・名前を伝え、カウンターで手続きしてください。
- ・返却方法 カウンター係に手渡しで返してください。  
カウンター係がいなときは、図書館入口の返却ボックスに返してください。
- ・おねがい 鞆は図書館の入口周辺に置いて、貴重品や筆記用具など、必要なものだけを持ち込んでください。  
本・机・椅子は大切に扱い、利用後はきちんと元の位置に戻しましょう。  
気持ちよく利用できるように、それぞれが気をつけて行動しましょう。

昨年度、1年間で最もたくさんの本を読んだ生徒の貸出冊数は398冊。

一人あたりの貸出冊数は13.5冊でした。

（平成28年度末集計）

## 原作本案内

近日、ドラマ化、映画化される原作本を読もう！



『リバーズ』 湊かなえ 講談社  
深瀬和久は平凡なサラリーマン。  
自宅の近所にある“クローバー・コーヒー”に通うことが唯一の楽しみだ。  
そんな穏やかな生活が、越智美穂子との出会いにより華やき始める。  
ある日、彼女のもとへ『深瀬和久は人殺した』と書かれた告発文が届く。  
深瀬は悩み苦しむ。遂にあのことを打ち明ける時がきたのかと。

## 『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』

太田紫織 KADOKAWA

北海道、旭川。とあるレトロなお屋敷に、「櫻子さん」が住んでいる。  
彼女は型破りなお嬢様。骨を偏愛し、骨を組み立てる標本士である一方、彼女は殺人事件の謎を解く、検死官の役をもこなす。  
そこに「死」がある限り、謎を解かずにはいられない。



『赤毛のアン』 L.M.モンゴメリ ポプラ社  
夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは少女から乙女へと成長してゆく。

愛に飢えた、元気な人參あたまのアンが巻き起す愉快な事件の数々に、人生の厳しさと温かい人情が織りこまれた永遠の名作。